

正誤表

以下の通り訂正いたします。

項番	正誤箇所	誤	正
1	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 1. 1. 1 章 データの連携パターン (2) 介護保険システムの登録結果の照会パターン	介護保険システムの登録結果の照会パターンに該当するインタフェースとして下記の記載がある ・審査会資料連携 (IF-B-02-01-02、04)	介護保険システムの登録結果の照会パターンに該当するインタフェースから下記の記載を削除 ・審査会資料連携 (IF-B-02-01-02、04)
2	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 2. 1. 3 章	CSV ファイルの命名規則が以下の通り [外部インタフェース ID※]+"_"+[介護保険者番号]+"_"+[作成日時 (YYYYMMDD)]+"_"+[連番]+"_"+[再送回数].csv ※外部インタフェース ID の「- (ハイフン)」を除いたもの	CSV ファイルの命名規則が以下の通り ○登録 [外部インタフェース ID※]+"_"+[介護保険者番号]+"_"+[作成日 (YYYYMMDD)]+"_"+[連番]+"_"+[再送回数].csv ※外部インタフェース ID の「- (ハイフン)」を除いたもの ○取得 [外部インタフェース ID※]+"_"+[介護保険者番号]+"_"+[作成日 (YYYYMMDD)]+"_"+[連番].csv ※外部インタフェース ID の「- (ハイフン)」を除いたもの
3	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 章 留意事項(8) 介護保険システム送信レコード作成日時	説明が以下の通り (例) ・保険者が当該レコードの作成を行った処理日時が 2025/06/01 12:34:56 の場合は、“2025-06-01 12:34:56”を設定する。	説明が以下の通り (例) ・保険者が当該レコードの作成を行った処理日時が 2025/06/01 12:34:56 の場合は、“2025-06-01T12:34:56”を設定する。
4	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 5：主治医意見書情報 (提出用)	保有期間が以下の通り 送付日 (意見書送付日) から起算して 2 か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して 2 か月経過した日の属する月の翌月に削除
5	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 6：審査会資料情報	保有期間が以下の通り 開催予定日から起算して 1 か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して 1 か月経過した日の属する月の翌月に削除
6	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 7：要介護認定情報 (全量・日次)	保有期間が以下の通り 要介護認定申請日から起算して 5 年経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して 4 か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して 5 年経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して 4 か月経過した日の属する月の翌月に削除
7	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 8：進捗状況情報	保有期間が以下の通り 要介護認定申請日から起算して 5 年経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して 4 か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して 5 年経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して 4 か月経過した日の属する月の翌月に削除
8	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 9：居宅サービス計画作成依頼届出情報 介護予防サービス計画作成 (介護予防ケアマネジメント) 依頼届出情報	保有期間が以下の通り 届出日から起算して 12 か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して 12 か月経過した日の属する月の翌月に削除

9	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 11：介護保険福祉用具購入費利用情報	保有期間が以下の通り 最新サービス提供年月①および最新サービス提供年月②がいずれも、当該年月から起算して5年を経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して4か月経過した日の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 介護情報基盤に追加・変更してから起算して5年を経過した日の属する年度の翌年度、または死亡による資格喪失日から起算して4か月経過した日の属する月の翌月に削除
10	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 14：処理結果情報	保有期間が以下の通り 更新日時から起算して1か月経過した日時の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 更新日時から起算して4か月経過した日時の属する月の翌月に削除
11	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 2 章 項番 15：処理結果（明細）	保有期間が以下の通り 更新日時から起算して1か月経過した日時の属する月の翌月に削除	保有期間が以下の通り 更新日時から起算して4か月経過した日時の属する月の翌月に削除
12	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 1 章 介護保険被保険者番号設定時の注意事項	記載なし	記載追記（章追加） 2. 5. 1 1 章 介護保険被保険者番号設定時の注意事項 介護情報基盤システムではみなし2号（第2号該当生保受給者）は取り扱い対象外となる。介護保険被保険者番号の冒頭一桁が「H」固定となる生活保護受給者が連携されてきた場合はエラーを返却する。
13	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 2 章 数値設定時の留意事項	記載なし	留意事項として以下を追記（章追加） 固定長として定義している項目は左ゼロ埋めとする。可変長はゼロ埋め無しとする。
14	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 3 章 未回答項目設定時の留意事項	記載なし	留意事項として以下を追記（章追加） 各フィールドに該当する未回答項目は、コード値の指定がない限り二重引用符「””」を設定する。
15	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 4 章 介護保険者番号に一部事務組合の事務組合番号を指定する場合の留意事項	記載なし	留意事項として以下を追記（章追加） (1)情報登録パターンに該当するインタフェース 以下の各インタフェースにおいては、一部事務組合もしくは構成市町村のいずれか一方から登録を行うこと。 対象インタフェース： ・審査会資料連携（IF-B-02-01-01～02） ・要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） ・要介護認定進捗状況情報連携（IF-B-03-02-01～02） 留意事項 ・保険者機能を有しない広域連合、および、一部事務組合と保険者の業務が混在する場合、介護保険システムへ情報提供・連携した上で介護保険システムにて要介護認定情報（全量・日次）および要介護認定進捗

		<p>状況情報の連携データを作成し、介護情報基盤システムへ連携することを推奨する。審査会資料連携については、一部事務組合にて連携することが可能。</p> <p>なお、一部事務組合と保険者の業務が混在していない場合に限り、一部事務組合から連携することが可能となる。</p> <p>(2) 情報取得パターンに該当するインタフェース</p> <p>以下のインタフェースにおいては、一部事務組合および構成市町村の双方から情報取得が可能となる。</p> <p>対象インタフェース：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見書と請求書が同時に送信された場合、先に一部事務組合が意見書データを取得する。この時点で、意見書データは「取得済」ステータスとなる。 ・構成市町村が後日請求書データを取得する際、画面上には「未取得」のデータのみが表示されるため、取得済データを表示する操作が必要となる。 ・請求書が後日送信される場合は、「未取得」状態で表示されるため、特別な操作なしで取得可能となる。 <p>なお、一部事務組合および構成市町村の両者が主治医意見書・請求書の内容を取得する場合、片方が取得要求を実施することで「未取得」状態から「取得済」状態へ更新されるため、後に取得要求を実施した場合に取得対象とならない。当該情報を両者で取得する場合は以下の例のような運用調整が必要となる。</p> <p>（例）</p> <p>一部事務組合にて「未取得」状態の主治医意見書・請求書を取得</p> <p>構成市町村にて「取得済」状態の主治医意見書・請求書を取得</p> <p>※「取得済」状態の主治医意見書・請求書は介護情報基盤が提供する画面にて取得可能</p> <p>この運用は、介護情報基盤の画面を用いて職員が端末操作を行う場合を前提としている。</p> <p>なお、夜間バッチによる自動連携を行う場合は、未取得のデータがすべて自動で連携されるため、意見書データと請求書データがまとめて取得される点に注意が必要となる。</p>
--	--	--

16	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 5 章 個人 4 情報の設定について	記載なし	記載追記（章追加） ・介護被保険者番号等情報の個人 4 情報は、PMH キーの発行のために住基の 4 情報を設定する ・証情報連携、減免減額認定証情報連携、負担割合証情報連携の個人 4 情報は、証（表面）記載の 4 情報を設定する
17	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1. 2 章 CSV ファイル名 5. 2. 2 章 CSV ファイル名 5. 3. 2 章 CSV ファイル名 5. 4. 2 章 CSV ファイル名 5. 6. 2 章 CSV ファイル名 5. 7. 2 章 CSV ファイル名 5. 8. 2 章 CSV ファイル名 5. 1 0. 2 章 CSV ファイル名 5. 1 1. 2 章 CSV ファイル名 5. 1 2. 2 章 CSV ファイル名 5. 1 4. 2 章 CSV ファイル名	5. 1. 2 章について、外部インタフェース ID「IF-A-01-02-01」の CSV ファイル名が以下の通り IFA010201+“_”+介護被保険者番号（6 桁）+“_”+作成日（YYYYMMDD）+連番（5 桁）+“_”+再送回数（1 桁）. csv ※作成日（YYYYMMDD）と連番（5 桁）の間に“_”がない ※5. 2. 2 章以降も同様	5. 1. 2 章について、外部インタフェース ID「IF-A-01-02-01」の CSV ファイル名が以下の通り IFA010201+“_”+介護被保険者番号（6 桁）+“_”+作成日（YYYYMMDD）+“_”+連番（5 桁）+“_”+再送回数（1 桁）. csv ※作成日（YYYYMMDD）と連番（5 桁）の間に“_”がある ※5. 2. 2 章以降も同様
18	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 2. 3 章 項番 13：生年月日 5. 3. 3 章 項番 14：生年月日 5. 4. 3 章 項番 13：生年月日 別紙 02_API 一覧_証情報連携（IF-A-02-02-01～02） 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14：生年月日 別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携（IF-A-02-03-01～02） 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 15：生年月日 別紙 04_API 一覧_負担割合証情報連携（IF-A-02-04-01～02） 「IF-A-02-04-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14：生年月日	内容欄が以下の通り 生年月日_不詳フラグが不詳ではない場合、必須で生年月日を記載する。生年月日不詳の場合、記載を省略する。	内容欄が以下の通り 住基上の生年月日_不詳フラグが不詳ではない場合、必須で生年月日を記載する。生年月日不詳の場合、記載を省略する。 ただし、住基上の生年月日が不詳である要介護・要支援認定が実施されている被保険者については受給者台帳上で管理される生年月日を連携すること。 なお、要介護・要支援認定のない住基上の生年月日が不詳である被保険者についても、上記要介護・要支援認定が実施されている被保険者と同様の取り扱いを行う保険者においては、要介護・要支援認定の実施によらず同様の設定を行うことが可能。

19	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 2. 3 章 項番 14: 生年月日_不詳フラグ 5. 3. 3 章 項番 15: 生年月日_不詳フラグ 5. 4. 3 章 項番 14: 生年月日_不詳フラグ 別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01~02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 15: 生年月日_不詳フラグ 別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01~02) 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 16: 生年月日_不詳フラグ 別紙 04_API 一覧_負担割合証情報連携 (IF-A-02-04-01~02) 「IF-A-02-04-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 15: 生年月日_不詳フラグ</p>	<p>内容欄が以下の通り 生年月日が不詳であるか否かを設定する。</p>	<p>内容欄が以下の通り 住基上の生年月日_不詳フラグが不詳ではない場合「0: 不詳でない」を設定する。生年月日不詳の場合「1: 不詳」を設定する。 ただし、住基上の生年月日が不詳である要介護・要支援認定が実施されている被保険者については受給者台帳上で管理される生年月日を連携することから、「0: 不詳でない」を設定する。 なお、要介護・要支援認定のない住基上の生年月日が不詳である被保険者についても、上記要介護・要支援認定が実施されている被保険者と同様の取り扱いを行う保険者においては、要介護・要支援認定の実施によらず同様の設定を行うことが可能。</p>
20	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 2. 3 章 項番 16: 性別 別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01~02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 17: 性別</p>	<p>内容欄が以下の通り 性別を設定する。</p>	<p>内容欄が以下の通り 性別を設定する。介護保険サービスを提供する上で本人の属性を特定可能な性別を連携すること。 本人の属性を特定可能な性別が、証の裏面に記載されているのであれば裏面に記載の性別を連携すること。 なお、要介護・要支援認定者については、受給者台帳上で管理されている性別を連携することとなる。</p>
21	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1. 3 章 項番 23: 保険者資格喪失事由コード</p>	<p>説明が以下の通り 証記載の保険者にて被保険者資格を喪失した事由のコード（コードとして定義されていない事由で資格喪失した場合は「その他喪失」を設定する。</p>	<p>説明が以下の通り 証記載の保険者にて被保険者資格を喪失した事由のコード（コードとして定義されていない事由で資格喪失した場合は「その他喪失」）を設定する。</p>

22	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版</p> <p>5. 1. 3 章 項番 28：受付明細番号</p> <p>5. 2. 3 章 項番 74：受付明細番号</p> <p>5. 3. 3 章 項番 47：受付明細番号</p> <p>5. 4. 3 章 項番 31：受付明細番号</p> <p>5. 6. 3 章 項番 71：受付明細番号</p> <p>5. 7. 3 章 項番 331：受付明細番号</p> <p>5. 8. 3 章 項番 32：受付明細番号</p> <p>5. 10. 3 章 項番 35：受付明細番号</p> <p>5. 11. 3 章 項番 41：受付明細番号</p> <p>5. 12. 3 章 項番 13：受付明細番号</p> <p>5. 14. 3 章 項番 13：受付明細番号</p>	<p>5. 8. 3 章以外について、説明欄が以下の通り 1つの CSV ファイル内に記録されたボディのレコード番号を設定する。 ボディの1レコード目には1を設定、次のレコード以降は+1ずつカウントアップした連番を設定する。分割ファイルの2ファイル目以降は前回の連番から+1カウントアップした連番を設定する。 設定する値の桁数が7桁に満たない場合は左側を0埋めして7桁で連携する。</p> <p>5. 8. 3 章について、説明欄が以下の通り 1つの CSV ファイル内に記録されたボディのレコード番号を設定する。 ボディの1レコード目には1を設定、分割ファイルの2ファイル目以降は前回の連番から+1カウントアップした連番を設定する。 次のレコード以降は+1ずつカウントアップした連番を設定する。 設定する値の桁数が7桁に満たない場合は左側を0埋めして7桁で連携する。</p>	<p>説明欄が以下の通り 1つの CSV ファイル内に記録されたボディのレコード番号を設定する。 ボディの1レコード目には1を設定、次のレコード以降は+1ずつカウントアップした連番を設定する。 設定する値の桁数が7桁に満たない場合は左側を0埋めして7桁で連携する。</p>
23	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版</p> <p>5. 2. 3 章 項番 53, 56, 59, 63, 68 別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01～02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 54, 57, 60, 64, 69</p>	属性が半角数字	属性が半角英数字
24	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版</p> <p>5. 3. 3 章 項番 17：性別</p> <p>5. 4. 3 章 項番 16：性別</p> <p>別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01～02) 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 15：性別</p> <p>別紙 04_API 一覧_負担割合証情報連携 (IF-A-02-04-01～02) 「IF-A-02-04-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14：性別</p>	内容欄が以下の通り 性別を設定する。	<p>内容欄が以下の通り 「9:設定なし」を設定する。</p> <p>●コード値 0：不明 1：男 2：女 9：設定なし</p>
25	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版</p> <p>5. 3. 3 章 項番 17：性別</p> <p>5. 4. 3 章 項番 16：性別</p>	<p>備考の記載 ※1</p> <p>表外の備考の記載が以下の通り ※1 「2. 4 コード一覧」参照。</p>	<p>備考の記載 記載なし</p> <p>表外の備考の記載が以下の通り 記載なし</p>
26	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版</p> <p>5. 3. 3 章 項番 22：保険者の電話番号</p>	<p>内容欄が以下の通り 減免減額証記載の保険者の電話番号を設定する。 ""-""による区切りがない場合は、""-""なしで設定する</p>	<p>内容欄が以下の通り 減免減額証記載の保険者の電話番号を設定する。 "-による区切りがない場合は、"-なしで設定する</p>

27	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 3. 3 章 項番 34, 35 別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01~02) 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 35, 36	内容欄の注釈※が以下の通り ※「減免減額証区分」が 07 の場合に設定	内容欄の注釈※が以下の通り ※「減免減額証区分」が 06 の場合に設定
28	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 4. 4 章 項目設定時の留意事項	(4) レコード更新イメージ 負担割合年度がキーではない。	(4) レコード更新イメージ 負担割合年度がキーとする。
29	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 2 章 CSV ファイル名 5. 9. 2 章 CSV ファイル名 5. 13. 2 章 CSV ファイル名 5. 15. 2 章 CSV ファイル名 5. 16. 2 章 CSV ファイル名	5. 5. 2 章について、外部 インタフェース ID「IF-B- 01-03-01」の CSV ファイル 名が以下の通り IFB010301+“_”+介護保険 者番号 (6 桁)+“_”+作成 日 (YYYYMMDD)+連番 (5 桁).csv ※作成日 (YYYYMMDD) と連 番 (5 桁) の間に“_”がない ※5. 9. 2 章以降も同様	5. 5. 2 章について、外部 インタフェース ID「IF-B- 01-03-01」の CSV ファイル 名が以下の通り IFB010301+“_”+介護保険 者番号 (6 桁)+“_”+作成 日 (YYYYMMDD)+“_”+連番 (5 桁).csv ※作成日 (YYYYMMDD) と連 番 (5 桁) の間に“_”がある ※5. 9. 2 章以降も同様
30	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 7: 医療機関番号 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01- 03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 11: 医療機関番号	属性が半角数字	属性が半角英数字
31	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 11: 医師番号 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01- 03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 15: 医師番号	属性が半角数字	属性が半角英数字
32	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 12: 種別 (意見書作成料種別) 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01- 03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 16: 種別 (意見書作成料種別)	コード値が以下の通り ●コード値 0: 未選択 1: 在宅 2: 施設	コード値が以下の通り ●コード値 1: 在宅 2: 施設
33	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 12: 種別 (意見書作成料種別) 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01- 03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 16: 種別 (意見書作成料種別)	介護情報基盤との連携にお けるインタフェース仕様書 _2.0 版 5. 5. 3 章 項番 12: 「種別 (意見書作 成料種別)」について 必須識別が任意 別紙 05_API 一覧_主治医意 見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポ ンス」 ボディ項番 16: 種別 (意見書 作成料種別) について 出現回数 (最小) が 0 (任意 項目)	介護情報基盤との連携にお けるインタフェース仕様書 _2.0 版 5. 5. 3 章 項番 12: 「種別 (意見書作 成料種別)」について 必須識別が必須 別紙 05_API 一覧_主治医意 見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポ ンス」 ボディ項番 16: 種別 (意見書 作成料種別) について 出現回数 (最小) が 1 (必須 項目)
34	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 14: 患者名 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01- 03-01~02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 18: 患者名	記載なし	説明欄に以下を補足 アルファベットも全角文字 で設定する。

35	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 18：性別	表外の備考の記載が以下の通り ※1 「2. 4 コード一覧」参照。	表外の備考の記載が以下の通り ※1 (項番 18 項目名 性別 備考) 「2. 4 コード一覧」参照。
36	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 19：郵便番号	内容欄が以下の通り 主治医意見書記載の郵便番号を設定する。 “-”で区切った 8 桁の値を設定する。	内容欄が以下の通り 主治医意見書記載の郵便番号を設定する。 “-”で区切った 8 桁の値を設定する。
37	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 24：医療機関郵便番号	内容欄が以下の通り 主治医意見書記載の医療機関郵便番号を設定する。 “-”で区切った 8 桁の値を設定する。	内容欄が以下の通り 主治医意見書記載の医療機関郵便番号を設定する。 “-”で区切った 8 桁の値を設定する。
38	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 29：意見書作成回数 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 33：意見書作成回数	コード値が以下の通り ●コード値 0：未選択 1：初回 2：2 回目以上	コード値が以下の通り ●コード値 0：初回 1：2 回目以上
39	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 29：意見書作成回数 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 33：意見書作成回数	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 29：「意見書作成回数」 必須識別が任意 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 ボディ項番 33:意見書作成回数 出現回数（最小）が 0（任意項目）	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 29：「意見書作成回数」 必須識別が必須 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 ボディ項番 33:意見書作成回数 出現回数（最小）が 1（必須項目）
40	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 30：他科受診の有無 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 34：他科受診の有無	記載なし	備考に※2（項番 30 項目名 他科受診の有無 備考）を追記 ※CSV レイアウト表外に※2 として下記を追記 1 桁目が「0：受診なし」の場合、2 桁目以降はすべて「0：受診なし」を設定する。 例：000000000000000 1 桁目が「1:受診あり」かつ他科受診の有無コード(2 桁目以降)がチェックなしの場合、2 桁目以降に「9：回答未記入」を設定する。 例：199999999999999 他科受診の有無の設問すべてがチェックなしの場合、1～14 桁目すべてに「9：回答未記入」を設定する。 例：999999999999999

41	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 32, 35, 38, 41, 44, 47, 50, 53, 56, 59, 62, 65, 68, 71, 74, 77, 80, 83, 86, 89 診断名 1～20</p> <p>別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 36, 39, 42, 45, 48, 51, 54, 57, 60, 63, 66, 69, 72, 75, 78, 81, 84, 87, 90, 93 診断名 1～20</p>	<p>桁数が 30</p>	<p>桁数が 100</p>
42	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 92：症状としての安定性 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 96：症状としての安定性</p>	<p>コード値が以下の通り ●コード値 0：未選択 1：安定 2：不安定 3：不明</p>	<p>コード値が以下の通り ●コード値 0：安定 1：不安定 2：不明</p>
43	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 103：認知症の行動・心理症状 5. 7. 3 章 項番 96：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード</p> <p>別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 107：認知症の行動・心理症状</p> <p>別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 項番 97：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード</p>	<p>5. 5. 3 章 項番 103：認知症の行動・心理症状 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 107：認知症の行動・心理症状 配列の項目が以下の通り ●項目 認知症の行動・心理症状有無、幻視・幻聴、妄想、昼夜逆行、暴言、暴行、介護への抵抗、徘徊、火の不始末、不潔行為、異食行動、性的問題行動、その他</p> <p>5. 7. 3 章 項番 96：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 項番 97：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード 配列の項目が以下の通り ●項目 認知症の行動・心理症状、意見書「認知症 幻視・幻聴」、意見書「認知症 妄想」、意見書「認知症 昼夜逆行」、意見書「認知症 暴言」、意見書「認知症 暴行」、意見書「認知症 介護への抵抗」、意見書「認知症 徘徊」、意見書「認知症 火の不始末」、意見書「認知症 不潔行為」、意見書「認知症 異食行動」、意見書「認知症 性的問題行動」、意見書「認知症 その他」</p>	<p>5. 5. 3 章 項番 103：認知症の行動・心理症状 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 107：認知症の行動・心理症状 配列の項目が以下の通り ●項目 認知症の行動・心理症状有無、幻視・幻聴、妄想、昼夜逆転、暴言、暴行、介護への抵抗、徘徊、火の不始末、不潔行為、異食行動、性的問題行動、その他</p> <p>5. 7. 3 章 項番 96：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 項番 97：意見書「認知症の行動・心理症状」（配列）コード 配列の項目が以下の通り ●項目 認知症の行動・心理症状、意見書「認知症 幻視・幻聴」、意見書「認知症 妄想」、意見書「認知症 昼夜逆転」、意見書「認知症 暴言」、意見書「認知症 暴行」、意見書「認知症 介護への抵抗」、意見書「認知症 徘徊」、意見書「認知症 火の不始末」、意見書「認知症 不潔行為」、意見書「認知症 異食行動」、意見書「認知症 性的問題行動」、意見書「認知症 その他」</p>

44	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 103：認知症の行動・心理症状 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 107：認知症の行動・心理症状</p>	記載なし	<p>備考に※3（項番 103 項目名 認知症の行動・心理症状備考）を追記 ※CSV レイアウト表外に※3 として下記を追記 1 桁目が「0：ない」の場合、2 桁目以降はすべて「0：ない」を設定する。 例：00000000000000</p> <p>1 桁目が「1：ある」かつ認知症の行動・心理症状の有無コード(2 桁目以降)がチェックなしの場合、2 桁目以降に「9：回答未記入」を設定する。 例：19999999999999</p> <p>認知症の行動・心理症状の設問すべてがチェックなしの場合、1～13 桁目すべてに「9：回答未記入」を設定する。 例：99999999999999</p>
45	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 105：その他の精神・神経症状の有無 5. 7. 3 章 項番 98：意見書「その他の精神・神経症状」 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 109：その他の精神・神経症状の有無 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 99：意見書「その他の精神・神経症状」</p>	<p>コード値が以下の通り ●コード値 0：ない 1：ある 9：回答未記入</p>	<p>コード値が以下の通り ●コード値 0：その他の精神・神経症状はない 1：その他の精神・神経症状がある</p>
46	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 151：歩行補助具・寝具の使用 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 155：歩行補助具・寝具の使用</p>	<p>項目名：歩行補助具・寝具の使用 説明：主治医意見書記載の歩行補助具・寝具の使用を示すコード値の配列を設定する。</p>	<p>項目名：歩行補助具・装具の使用 説明：主治医意見書記載の歩行補助具・装具の使用を示すコード値の配列を設定する。</p>
47	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 151：歩行補助具・寝具の使用 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 155：歩行補助具・寝具の使用</p>	記載なし	<p>備考に※4（項番 151 項目名 歩行補助具・装具の使用備考）を追記 ※CSV レイアウト表外に※4 として以下を追記 1 桁目が「0：用いていない」の場合、2 桁目以降はすべて「0：用いていない」を設定する。 例：000</p> <p>1 桁目が「1：用いている」の場合、2 桁目・3 桁目のいずれかまたは双方に「1：用いている」を設定する。 例 1：110 例 2：111</p>
48	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 5. 3 章 項番 189：医療機関コード（医療機関の事業者番号） 別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携（IF-B-01-03-01～02） 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 193：医療機関コード（医療機関の事業者番号）</p>	属性が半角数字	属性が半角英数字

49	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 6. 2 章 審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) の PDF ファイル名	CSV・PDF ファイル名が「審査会開催保険者番号 (6 桁) + “_” + 区分 (2 桁) + “_” + 合議体番号 (6 桁) + “_” + 開催予定日 (YYYY-MM-DD) + “_” + 開始予定時刻 (HH:MM:SS) + “.pdf” ※ (HH:MM:SS) の「:」あり ※.pdf の前に「+」あり	CSV・PDF ファイル名が「審査会開催保険者番号 (6 桁) + “_” + 区分 (2 桁) + “_” + 合議体番号 (6 桁) + “_” + 開催予定日 (YYYY-MM-DD) + “_” + 開始予定時刻 (HHMMSS) .pdf” ※ (HH:MM:SS) の「:」を削除 ※.pdf の前に「+」なし
50	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 6. 3 章 項番 11: 開始予定時刻 別紙 06_API 一覧_審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) 「IF-B-02-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 12: 開始予定時刻	書式が 00:00:00	書式が HH:MM:SS
51	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 6. 3 章 項番 12: 終了予定時刻 別紙 06_API 一覧_審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) 「IF-B-02-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 13: 終了予定時刻	書式が 00:00:00	書式が HH:MM:SS
52	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 6. 3 章 項番 18, 23, 28, 33, 38, 43, 48, 53, 58, 63 審査員者 1 ～ 1 0 メールアドレス 項番 19, 24, 29, 34, 39, 44, 49, 54, 59, 64 審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワード 別紙 06_API 一覧_審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) 「IF-B-02-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 19, 24, 29, 34, 39, 44, 49, 54, 59, 64 審査員者 1 ～ 1 0 メールアドレス リクエストボディ項番 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65 審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワード	審査員者 1 メールアドレス～審査員者 1 0 メールアドレスおよび審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワードの属性が半角英数字	審査員者 1 メールアドレス～審査員者 1 0 メールアドレスおよび審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワードの属性が半角文字
53	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 17: 主治医医療機関番号 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 18: 主治医医療機関番号	属性が半角数字	属性が半角英数字
54	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 18: 主治医番号 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 19: 主治医番号	属性が半角数字	属性が半角英数字
55	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 24, 27, 30, 33, 36, 39, 42, 45, 48, 51, 54, 57, 60, 63, 66, 69, 72, 75, 78, 81 診断名 1～20 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 25, 28, 31, 34, 37, 40, 43, 46, 49, 52, 55, 58, 61, 64, 67, 70, 73, 76, 79, 82 診断名 1～20	桁数が 30	桁数が 100
56	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 147: 意見書「現在、今後発生の可能性」(配列)コード 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 148: 意見書「現在、今後発生の可能性」(配列)コード	説明欄が以下の通り 主治医意見書記載の歩行補助具・装具の使用を示すコード値の配列を設定する。	説明欄が以下の通り 主治医意見書記載の現在、今後発生の可能性を示すコード値の配列を設定する。
57	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 165: 指定居宅介護支援事業者等番号 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 166: 指定居宅介護支援事業者等番号	属性が半角文字	属性が半角英数字

58	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 229：地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 230：地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	説明が以下の通り 認定調査票記載の地域密着型特定施設入居者生活介護の利用状況を設定する。 サービス利用回数/品目数等を設定する。	説明が以下の通り 認定調査票記載の地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の利用状況を設定する。 サービス利用回数/品目数等を設定する。
59	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 3 章 項番 231：看護小規模多機能型居宅介護 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携（IF-B-03-01-01～02） 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 232：看護小規模多機能型居宅介護	説明が以下の通り 認定調査票記載の定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況を設定する。 サービス利用回数/品目数等を設定する。	説明が以下の通り 認定調査票記載の看護小規模多機能型居宅介護の利用状況を設定する。 サービス利用回数/品目数等を設定する。
60	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 4 章 項目設定時の留意事項 (7)「みなし更新申請」について	説明が以下の通り 「みなし更新申請」については、以下のコードを設定し、更新区分情報を「更新」で連携する。	説明が以下の通り 「みなし更新申請」については、以下のコードを設定し、更新区分情報を「1:新規」で連携する。
61	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 7. 4 章 要介護認定（全量・日次）項目設定時の留意事項 (10)要介護認定を引き継ぐ場合について	留意事項が以下の通り 広域連合における構成市町村間での転入・転出や政令市内の区間転居などで介護保険被保険者証に記載の介護保険者番号が変更となる場合、主キー項目の「証記載保険者番号」が変更となるため要介護認定を引き継ぐ場合においても、変更後の証記載介護保険者番号にて新規登録として連携する。	留意事項が以下の通り 広域連合における構成市町村間での転入・転出や政令市内の区間転居などで介護保険被保険者証に記載の介護保険者番号が変更となる場合、主キー項目の「証記載保険者番号」が変更となるため再度連携する必要がある。その際、変更後の証記載介護保険者番号にて新規登録として連携すること。また、要介護認定情報等の閲覧にかかる包括同意の管理において、申請時の包括同意ステータスから変更がある場合は、包括同意情報の連携インタフェースを用いて更新すること。
62	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 8. 3 章 項番 13：調査予定日 ～ 項番 28：要介護認定却下取下日	必須欄が△	必須欄が条件付き必須
63	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 8. 3 章 項番 30：再調査フラグ 別紙 08_API 一覧_要介護認定進捗状況情報連携（IF-B-03-02-01～02） 「IF-B-03-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 31：再調査フラグ	コード値が以下の通り ●コード値 1:再調査	コード値が以下の通り ●コード値 1:再調査と判定 2:再調査

64	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 8. 4 章 項目設定時の留意事項 (1) 再調査・意見書再入手となった場合について</p>	<p>(1) 再調査・意見書再入手となった場合について が以下の記載。</p> <p>再調査・意見書再入手となった場合、要介護認定履歴番号を+1 カウントアップし、更新区分情報を「新規」、再調査フラグを「1:再調査」とした上で、各種日付および区分に適切な値を設定する。</p>	<p>(1) 再調査・意見書再入手となった場合について に以下記載を修正・追記</p> <p>再調査・意見書再入手となった場合、要介護認定履歴番号を+1 カウントアップし、更新区分情報を「新規」、再調査フラグを「2:再調査」とした上で、各種日付および区分に適切な値を設定する。</p> <p>なお、初回調査の進捗情報および再調査の進捗情報は以下の形にて連携すること。</p> <p>○初回調査 ・更新区分情報：「2:更新」 ・再調査フラグ：「1:再調査と判定」</p> <p>○再調査 ・更新区分情報：「1:新規」 ・再調査フラグ：「2:再調査」 ・調査予定日などの日付情報は再調査の実施日を設定ただし、再認定調査あるいは意見書再入手のどちらかの場合、もう一方に関する項目には前の調査あるいは意見書入手に関する日付を設定すること。</p>
65	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 9. 3 章 項番 13：居宅介護（介護予防）支援事業所番号 項番 15：委託先居宅介護支援事業所番号 別紙 09_API 一覧_居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成（介護予防ケアマネジメント）依頼届出情報連携（IF- D2-01-03-01～02） 「IF- D2-01-03-02_レスポンス」 項番 17：居宅介護（介護予防）支援事業所番号 項番 19：委託先居宅介護支援事業所番号</p>	属性が半角数字	属性が半角英数字
66	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 9. 3 章 項番 20：委託先居宅介護支援事業所住所__町字</p>	項番 20 が重複	項番 20 以降の項番が是正されている
67	<p>介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 10. 3 章 項番 32：住宅改修費利用可能額 別紙 10_API 一覧_介護保険住宅改修費利用情報の連携（IF-I2-06-01-01～02） 「IF-I2-06-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 23：住宅改修費利用可能額</p>	<p>項目名：住宅改修費利用可能額 説明：同一の住宅改修計算単位連番における住宅改修費の支給金額の利用可能額を設定する。</p>	<p>項目名：住宅改修費支給限度額（残額） 説明：同一の住宅改修計算単位連番における住宅改修費の支給限度額の残額を設定する。</p>

68	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 0. 3 章 ※1	欄外の※1 注釈が以下の通り 同一の住宅改修計算単位連番内に要介護状態区分コードが21~25の支給実績がある場合、項番12~21は値を設定し、項番22~31に値は設定しない。 同一の住宅改修計算単位連番内に要介護状態区分コードが12、13の支給実績がある場合、項番22~31は値を設定し、項番12~21に値は設定しない。	欄外の※1 注釈が以下の通り 同一の住宅改修計算単位連番内に要介護状態区分コードが21~25の支給実績がある場合、項番12~21は値を設定し、項番22~31に値は設定しない。 同一の住宅改修計算単位連番内に要介護状態区分コードが12、13の支給実績がある場合、項番22~31は値を設定し、項番12~21に値は設定しない。 要介護状態区分コードが21~25のいずれかに該当する支給実績と、12または13のいずれかに該当する支給実績が両方存在する場合、項番12~31は値を設定する。
69	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 0. 4 章 項目設定時の留意事項	記載なし	項目設定時の留意事項(4)として下記を追加（章追加） (4) 不支給となったケースの連携について 介護保険住宅改修費利用情報において、更新区分情報が「1（新規）」、または「2（更新）」の歴について、支給金額合計を0円に設定して介護情報基盤へ連携した場合、関連項目の設定は以下の通りとする。 ・最新サービス提供年月には、支給金額合計が「0」と判定した申請分のサービス提供年月を設定する。 ・介護保険住宅改修費利用情報連携の改修内容コードには、全て「2（なし）」で設定する ・支給金額合計には「0」を設定する ・支給決定日には、支給金額合計が「0」と判定した申請分の支給決定日を設定する。 なお、複数の住宅改修の内、支給と不支給が混在する場合は支給実績のみを設定して連携すること。
70	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 1. 3 章 項番 14, 15, 28, 29 別紙 11_API 一覧_介護保険福祉用具購入費利用情報の連携（IF-I2-07-01-01~02） 「IF-I2-07-01-02_リクエスト」 リクエストボディ 項番 15, 16, 29, 30	種目コードが以下の通り 「種目コード：02（入浴補助用具）」 「種目コード：03（特殊尿器）」	種目コードが以下の通り 「種目コード：02（特殊尿器）」 「種目コード：03（入浴補助用具）」
71	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 1. 3 章 項番 39：福祉用具購入費利用可能額 別紙 11_API 一覧_介護保険福祉用具購入費利用情報の連携（IF-I2-07-01-01~02） 「IF-I2-07-01-02_リクエスト」 リクエストボディ 項番 40：福祉用具購入費利用可能額	項目名：福祉用具購入費利用可能額 説明：同一サービス提供年度の福祉用具購入費の支給金額の利用可能額を設定する。	項目名：福祉用具購入費支給限度額（残額） 説明：同一サービス提供年度の福祉用具購入費の支給限度額の残額を設定する。

72	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 1. 4 章 項目設定時の留意事項	記載なし	<p>項目設定時の留意事項(3)として下記を追加（章追加） (3) 不支給となったケースの連携について 介護保険福祉用具購入費利用情報において、更新区分情報が「1（新規）」、または「2（更新）」の歴について、支給金額合計を0 円に設定して介護情報基盤へ連携した場合、関連項目の設定は以下の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新サービス提供年月には、支給金額合計が「0」と判定した申請分のサービス提供年月を設定する。 ・介護保険福祉用具購入費利用情報の福祉用具購入費の種目コードには、全て「2（なし）」で設定する ・支給金額合計には「0」を設定する ・支給決定日には、支給金額合計が「0」と判定した申請分の支給決定日を設定する <p>なお、複数の福祉用具購入の内、支給と不支給が混在する場合は支給実績のみを設定して連携すること。</p>
73	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 4. 4 章 包括同意情報の連携 項目設定時の留意事項	記載なし	<p>留意事項として以下を追記（章追加） (3) 包括同意情報を引き継ぐ場合について 広域連合における構成市町村間での転入・転出や政令市内の区間転居等で証記載保険者番号が変更となった場合の対応について連携時に留意する内容を以下の通り記載する。 包括同意情報が申請時（要介護認定情報連携時）と最新で異なる場合（撤回・再同意手続き等により変更となった場合）は、証記載保険者番号を変更して最新の包括同意情報を連携すること。</p>
74	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 1 4. 4 章 項目設定時の留意事項	記載なし	<p>留意事項として以下を追記（章追加） (4) 包括同意情報更新時の注意事項 ・介護保険システムからの包括同意情報取得要求処理が完了しておらず未出力の包括同意情報に対し、包括同意フラグを更新しようとした場合はエラーとする。 上記の場合は、包括同意情報の取得を実施して最新の包括同意フラグを確認の上必要に応じて再度包括同意情報を連携する。 ・介護情報基盤システムに登録されている包括同意情報と同一の包括同意フラグで包括同意情報を更新しようとした場合はエラーとする。</p>

75	別紙 01_API 一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～02) 「IF-A-01-02-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-A-01-02-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01～02) 「IF-A-02-02-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-A-02-02-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01～02) 「IF-A-02-03-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-A-02-03-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 04_API 一覧_負担割合証情報連携 (IF-A-02-04-01～02) 「IF-A-02-04-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-A-02-04-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-B-03-01-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 08_API 一覧_要介護認定進捗状況情報連携 (IF-B-03-02-01～02) 「IF-B-03-02-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-B-03-02-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 10_API 一覧_介護保険住宅改修費利用情報の連携 (IF-I2-06-01-01～02) 「IF-I2-06-01-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-I2-06-01-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 11_API 一覧_介護保険福祉用具購入費利用情報の連携 (IF-I2-07-01-01～02) 「IF-I2-07-01-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-I2-07-01-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 12_API 一覧_介護被保険者証利用情報連携 (IF-I6-01-03-01～02) 「IF-I6-01-03-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-I6-01-03-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名 別紙 14_API 一覧_包括同意情報の連携 (IF-D1-12-01-01～02) 「IF-D1-12-01-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: ファイル名 「IF-D1-12-01-01_レスポンス」 項番 1: ファイル名	桁数が 36 桁	桁数が 37 桁
76	別紙 01_API 一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～02) 「IF-A-01-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 15: 生年月日	出現回数 (最小) が 1	出現回数 (最小) が 0
77	別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01～02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 16: 生年月日不詳表記	出現回数 (最小) が 1	出現回数 (最小) が 0
78	別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01～02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 27: 認定の有効期間_終了日	説明欄に見え消しが残存している	説明欄の見え消しが削除されている
79	別紙 02_API 一覧_証情報連携 (IF-A-02-02-01～02) 「IF-A-02-02-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 73: 備考	項目 ID が date_of_birth_display_category	項目 ID が remarks
80	別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01～02) 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 23: 保険者の電話番号	説明が以下の通り 減免減額証記載の保険者の電話番号を設定する。 ""-""による区切りがない場合は、""-""なしで設定する	説明が以下の通り 減免減額証記載の保険者の電話番号を設定する。 ""-""による区切りがない場合は、""-""なしで設定する

81	別紙 03_API 一覧_減免減額認定証情報連携 (IF-A-02-03-01～02) 「IF-A-02-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 48: 受付明細番号	項目 ID が receipt_detail_no	項目 ID が receipt_detail_no
82	別紙 04_API 一覧_負担割合証情報連携 (IF-A-02-04-01～02) 「IF-A-02-04-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 9	項番 9 が重複	項番 9 以降の項番が是正されている
83	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-01_レスポンス」 項番 2: 介護保険被保険者番号	レスポンス項目に「介護保険被保険者番号」が存在している	レスポンス項目に「介護保険被保険者番号」を削除
84	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 19: 患者名 (かな)	項目名: 患者名 (かな)	項目名: 患者名かな
85	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 23: 郵便番号	説明が以下の通り 主事意見書記載の郵便番号を設定する。 ""-""で区切った 8 桁の値を設定する。	説明が以下の通り 主治医意見書記載の郵便番号を設定する。 ""-""で区切った 8 桁の値を設定する。
86	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 24: 住所	説明が以下の通り 主事意見書記載の住所を設定する。 住所に方書が存在する場合は、番地の後に全角スペースを入力後、方書を設定する	説明が以下の通り 主治医意見書記載の住所を設定する。 住所に方書が存在する場合は、番地の後に全角スペースを入力後、方書を設定する
87	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 25: 連絡先電話番号	説明が以下の通り 主事意見書記載の連絡先電話番号を設定する。 ""-""による区切りがない場合は、""-""なしで設定する。	説明が以下の通り 主治医意見書記載の連絡先電話番号を設定する。 ""-""による区切りがない場合は、""-""なしで設定する。
88	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 28: 医療機関郵便番号	説明が以下の通り 主治医意見書記載の医療機関郵便番号を設定する。 ""-""で区切った 8 桁の値を設定する。	説明が以下の通り 主治医意見書記載の医療機関郵便番号を設定する。 ""-""で区切った 8 桁の値を設定する。
89	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 141, 143, 145 失調・不随意運動 上肢右 失調・不随意運動 下肢右 失調・不随意運動 体幹右	桁数が 2	桁数が 1
90	別紙 05_API 一覧_主治医意見書等情報 (提供用) 連携 (IF-B-01-03-01～02) 「IF-B-01-03-02_レスポンス」 項番 163: 医学的管理の必要性	桁数が 14	桁数が 13
91	別紙 06_API 一覧_審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) 「IF-B-02-01-01_リクエスト」 リクエストボディ項番 1: 認定審査会開催情報 CSV ファイル名	桁数が 200 桁(可変長)	桁数が 37 桁(固定長)
92	別紙 06_API 一覧_審査会資料連携 (IF-B-02-01-01～02) 「IF-B-02-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 6 7: 認定審査会情報連携内容伝達区分	コード値が以下の通り ●コード値 0: 認定審査会情報初回連絡 1: 認定審査会情報更新連絡 2: 認定審査会資料更新連絡 3: 認定審査会情報及び資料更新連絡	コード値が以下の通り ●コード値 1: 認定審査会情報更新連絡 2: 認定審査会資料更新連絡 3: 認定審査会情報及び資料更新連絡
93	別紙 07_API 一覧_要介護認定情報 (全量・日次) 連携 (IF-B-03-01-01～02) 「IF-B-03-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14: 要介護認定状況コード	コード値が以下の通り ●コード値 00: 申請受理 01: 申請却下 02: 却下 03: 認定 04: 職権認定	コード値が以下の通り ●コード値 01: 申請受理 02: 申請取下 03: 却下 04: 認定 05: 職権認定
94	別紙 10_API 一覧_介護保険住宅改修費利用情報の連携 「IF-I2-06-01-02_レスポンス」 項番 6: 介護情報基盤受付番号	項目 ID が fd_receipt_receipt_no	項目 ID が fd_receipt_no ※見え消し削除
95	別紙 10_API 一覧_介護保険住宅改修費利用情報の連携 「IF-I2-06-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 22 以降	項番 22 以降の項番がずれている	項番 22 以降の項番ずれが是正されている
96	別紙 11_API 一覧_介護保険福祉用具購入費利用情報の連携 (IF-I2-07-01-01～02) 「IF-I2-07-01-02_レスポンス」 項番 6: 介護情報基盤受付番号	項目 ID が fd_receipt_receipt_no	項目 ID が fd_receipt_no ※見え消し削除

97	別紙 12_API 一覧_介護被保険者証利用情報連携（IF-I6-01-03-01～02） 「IF-I6-01-03-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14：受付明細番号	項目 ID が receipt_detail_no	項目 ID が receipt_detail_no
98	別紙 14_API 一覧_包括同意情報の連携（IF-D1-12-01-01～02） 「IF-D1-12-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 14：受付明細番号	項目 ID が receipt_detail_no	項目 ID が receipt_detail_no
99	別紙 16_API 一覧_登録結果返却（IF-I9-01-01-01～02） 「IF-I9-01-01-02_レスポンス」 項番 10：受付明細番号	項目 ID が receipt_detail_no	項目 ID が receipt_detail_no
100	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版（初期セットアップ編） 2. 3. 2 章 データ抽出における留意事項 【その他留意事項】	記載なし	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 2. 5. 1 4 章の記載に伴い留意事項として以下を追記 ・要介護認定情報（全量・日次）連携および要介護認定進捗状況情報連携のインタフェース連携において、保険者機能を有しない広域連合、および、一部事務組合と保険者（市区町村等）で介護認定にかかる業務が混在する場合は保険者（市区町村等）から連携すること。ただし、業務が混在していない場合は保険者機能を有しない広域連合、および、一部事務組合からの連携を可能とする。
101	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版（初期セットアップ編） 2. 3. 3. 5 章 要介護認定情報（全量・日次）連携 2. 3. 3. 9 章 包括同意情報の連携	記載が「要介護認定申請同意コード」	記載が「要介護認定申請時包括同意フラグ」
102	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_2.0 版 5. 6. 3 章 項番 19, 24, 29, 34, 39, 44, 49, 54, 59, 64 審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワード 別紙 06_API 一覧_審査会資料連携（IF-B-02-01-01～02） 「IF-B-02-01-02_リクエスト」 リクエストボディ項番 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65 審査員者 1 ～ 1 0 参照用パスワード	審査員者 1 参照用パスワード～審査員者 1 0 参照用パスワードの属性が半角英数字	審査員者 1 参照用パスワード～審査員者 1 0 参照用パスワードの属性が半角文字